

第4回 大阪880万人訓練
(平成27年9月4日(金)実施)
報告書

平成27年12月

大阪880万人訓練 実行委員会事務局

訓練概要

①実施日時

平成 27 年 9 月 4 日（金）

- 午前 11 時：地震発生（屋外スピーカーや館内放送などでお知らせ）
- 午前 11 時 03 分頃：大津波警報発表（訓練用のエリアメール／緊急速報メールなどでお知らせ）

②訓練の目的

府民のみなさんが、様々な情報源から地震・津波発生情報を認識し、地震・津波発生時に行動できるようにすること。

③訓練の想定及び方針

- 想定：南海トラフ巨大地震
- 方針：訓練の着実な実施
市町村によるエリアメール／緊急速報メールを活用した訓練情報の発信の拡充

④訓練情報発信ツール

- エリアメール／緊急速報メール（対応機種のみ）：携帯電話会社の防災情報サービス
- おおさか防災情報メール（登録者のみ）：大阪府の防災情報サービス
- Yahoo! 防災速報（登録者のみ）：Yahoo! JAPAN の防災情報サービス
- NTT ドコモ地震防災訓練アプリ（登録者のみ）：緊急地震速報の専用ブザー音が鳴動するアプリ【新規】

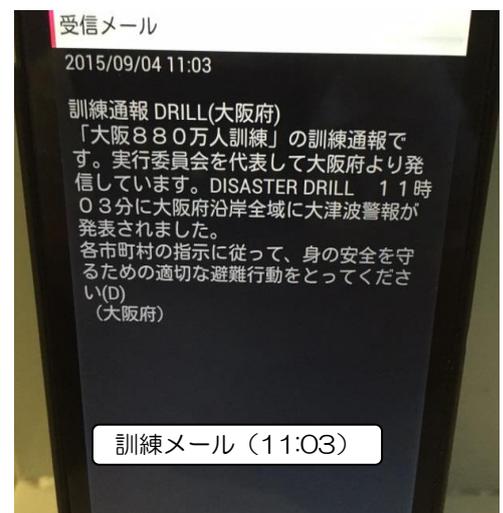
訓練結果概要

11 時に地震発生、11 時 03 分に大津波警報発表という昨年度と同様の想定で、11 時 03 分頃にエリアメール／緊急速報メールを発信する、実態に即した形での訓練を実施した。

また、前々回から実施している、市町村による訓練情報メールの第 2 弾発信は、今回 36 市町村が実施し、訓練情報発信のさらなる拡充を行った（前回は 33 市町村、前々回は 18 市町村）。

エリアメール／緊急速報メールの覚知率は、おおさか Q ネットのアンケート結果では、68.1%と 7 割近くに上り、大阪のような大都市では、携帯電話等が緊急時の災害情報の伝達手段として有効であることが改めて確認できた。

また、今年度はじめて全ての市町村において連動訓練が実施されるなど、本訓練の定着が一定図られているものと認識している。



一方で、おおさかQネットのアンケート結果によると、訓練事前浸透率（訓練開始時より前にこの訓練を知っていた者の割合）が6割弱、訓練情報受信後、訓練に参加した人が2割弱となっており、本訓練の目的の一つである実際の「逃げる」行動に、いかにつなげていけるかが引き続きの課題となっている。

広報状況

これまでと同様、府及び市町村における活用可能なツールを最大限に活用したほか、様々な企業等とのタイアップ等により広報活動を行った。

特に、今回については、訓練事前浸透率の向上を図るべく、訓練のプレイベントとして、訓練1週間前の8月28日（金）に「もずやん及び府内市町村キャラクターによる避難訓練 in 大阪城」を実施し、多数のマスコミに取り上げていただくとともに、梅田地区を中心に協力可能な企業に幅広く呼びかけ、各企業が保有する電光掲示板などの広報ツールを活用させていただいた【新規】。

具体的には、府政だより（6・9月号）や全市町村広報誌への掲載を行ったほか、府・市町村HPや大阪府facebook・ツイッターへの掲載、知事定例記者会見（2回）など様々なツールを活用してPRを行った。

また、民間企業等とのタイアップとしては、昨年に引き続き三井住友海上火災保険(株)にご協力をいただき、タイアップポスター・リーフレットを作成いただくとともに、パラマウントピクチャーズ ジャパン様にご協力いただき、映画「ミッション:インポッシブル/ローグ・ネイション」とのタイアップポスターを作成し、府内の公共施設や学校・映画館等で掲出いただいた。

さらに、上記プレイベントにおいて訓練の日時等を告知するための横断幕を三井住友海上火災保険(株)に作成いただいた【新規】。

昨年から引き続いての取組みとしては、公益財団法人 日本公衆電話会のご協力をいただき、訓練の概要や日頃の備え等を掲載した「うちわ」を作成し、地域の関係団体等に配布していただいた。

また、各鉄道・バス会社やラジオ各社に広報協力を呼びかけ、車内放送やポスター掲示、ラジオ番組等での告知を行っていただいたほか、スポーツ新聞やミニコミ誌等にも幅広く協力を呼びかけ、掲載等いただいた。

【主な広報活動状況】

- 三井住友海上火災保険(株)タイアップポスター合計 3,000 枚、リーフレット合計 100,000 枚
- パラマウントピクチャーズ ジャパン 映画「ミッション:インポッシブル/ローグ・ネイション」とのタイアップポスター2,000 枚
- 公益財団法人 日本公衆電話会 うちわ 4,000 枚
- 道頓堀雪印メグミルクネオン（4月～8月）
- スーパー銭湯待合室モニター（7月、8月）
- Yahoo!ニュース及び The Page 大阪(動画)（9月3日及び4日）
- 民間の電光掲示板を活用した広報（JR大阪駅構内、大阪ステーションシティ アトリウム広場※、京セラドーム大阪、ウインズ梅田、ホワイトティ梅田、ポートピア梅田）【新規】
- ※大阪ステーションシティ アトリウム広場においては、9月1日、もずやん等による府政だより配布をあわせて実施。

【新規】

訓練事前浸透率

訓練事前浸透率（訓練開始時より前にこの訓練を知っていた者の割合）は、58.6%であった。

特に、今回については、訓練の幅広い事前浸透を図るべく、訓練のプレイベントとして、訓練 1 週間前の 8 月 28 日（金）に「もずやん及び府内市町村キャラクターによる避難訓練 in 大阪城」を実施し、多数のマスコミに取り上げていただくとともに、梅田地区を中心に、協力可能な企業に幅広く呼びかけ、各企業が保有する電光掲示板などの広報ツールを最大限に活用させていただくなど、これまで以上の事前 PR に努めたものの、十分な浸透を図ることができなかった。

「もずやん及び府内市町村キャラクターによる避難訓練 in 大阪城」

アンケート結果を踏まえ、浸透経路の割合が高かったテレビ等あらゆる広報手段を引き続き活用するとともに、携帯電話・スマートフォンとの親和性が高い SNS やインターネットを最大限に活用することで、口コミや職場からの周知につなげていくことが引き続き必要と考える。



訓練開始合図

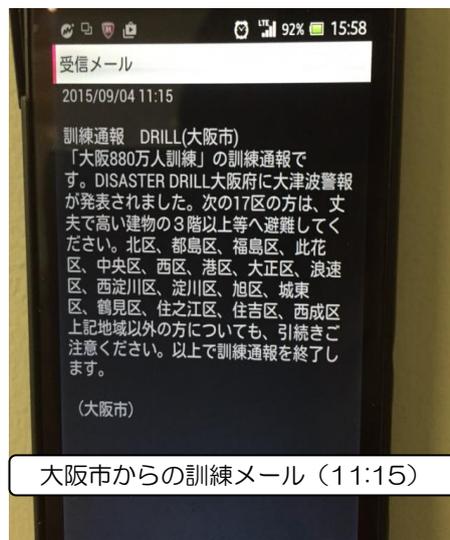
今回の訓練は、昨年度と同様、地震は 11 時に発生し、大津波警報が 11 時 03 分に発表されるという想定で、11 時 03 分頃にエリアメール／緊急速報メールを発信するという、実態に即した形で実施した。

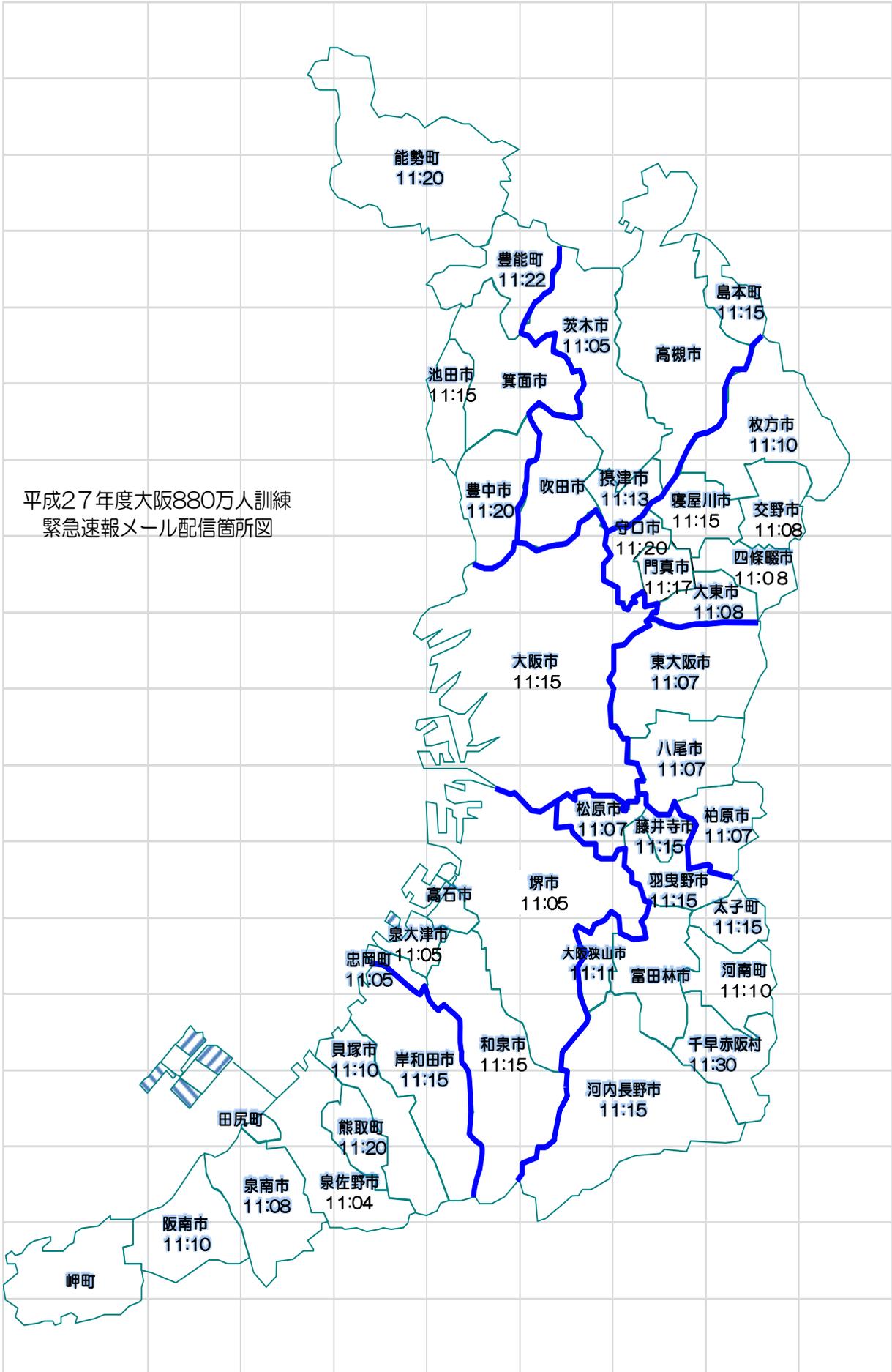
エリアメール／緊急速報メールにより訓練情報を受け取った覚知率は、68.1%であった。

また、今回は 36 市町村が訓練情報メールの第 2 弾発信を行ったが、特段のトラブル等なく適切に発信することができた（前回は 33 市町村、前々回は 18 市町村）。

なお、実際に大規模災害が発生した際には、複数の自治体から重複してエリアメール／緊急速報メールが届くことから、訓練情報メールの第 2 弾発信についてもアンケート調査を行ったところ、「実際の状況を想定しての発信であれば必要である」との回答が 63.9%、「実際の状況を想定しての発信であれば必要だと思うが、事前に十分な説明が必要である」との回答が 25.3%であった。

本訓練も 4 回目となり、府民のエリアメール／緊急速報メールに対する認識とともに、全国各地で毎年のように様々な災害が発生していることから、府民の防災に対する意識が高まっているものと考えられる。





事前訓練

訓練当日までに、避難方法や非常持ち出し品の点検などの日常の備えについて考えておく事前訓練への参加率の推計値は 20.4%であった。

当日訓練

エリアメール／緊急速報メール等で訓練情報を受け、自分の身の安全を守ることやその後、どう行動するかなど考える当日訓練への参加率は 19.1%であった。

連動訓練

本訓練と連携して市町村や自治会等の他主体が実施する避難訓練、防災研修などの連動訓練への参加率の推計値は 9.7%であった。

府民の反響等

過去 3 回に比べ、エリアメール／緊急速報メールが届かないという府民の声が大幅に減っていることや、本訓練も 4 回目となり、府民のエリアメール／緊急速報メールに対する認識とともに、全国各地で毎年のように様々な災害が発生していることから、府民の防災に対する意識が高まっているものと考えられる。

一方で、訓練情報受信後、訓練に参加しなかった人が 8 割を超えるなど、本訓練の目的の一つである、実際の「逃げる」行動に、いかにつなげていくかが、引き続き課題となっている。

忠岡小学校 4 年生による地震発生時の身を守る行動



自主防災組織や中学生による忠岡中学校体育館における避難所開設訓練



各団体の取り組み状況

大阪府庁各部

部局・所属名	取組内容
政策企画部	身を守る行動、職員の安否確認訓練
(危機管理室)	庁内放送
総務部	身を守る行動
(庁舎管理課)	発電機の操作手順確認訓練、救出・救護訓練
財務部	身を守る行動
(府税事務所等)	府民センター等の庁舎の安全点検確認
府民文化部	身を守る行動
福祉部	身を守る行動、情報伝達訓練
健康医療部	身を守る行動
(各保健所)	庁内放送、身を守る行動、避難訓練、地域対策医療本部立上げ初動訓練、防災訓練への参加、防災無線等使用訓練、車載無線による安否報告、防災無線ファックス使用訓練
商工労働部	身を守る行動、職員の安否確認訓練、関係機関広報
環境農林水産部	啓発コーナー、身を守る行動、職員参集訓練、情報収集訓練、職員の安否確認訓練、関係機関広報
都市整備部	職員参集訓練、情報伝達訓練、情報収集訓練、部震災対策本部会議運営訓練、職員の安否確認訓練、水門・鉄扉等閉鎖訓練、災害時応援協定に基づく応援要請訓練、防災ボランティアとの連携訓練 など
住宅まちづくり部	身を守る行動、情報伝達訓練、職員参集訓練
会計局	職員参集訓練、緊急時の財務処理体制を確保するための訓練
議会事務局	身を守る行動・避難誘導訓練
教育委員会	啓発コーナー、庁内放送、身を守る行動、避難訓練(来庁者等)、職員参集訓練、情報伝達訓練
監査委員事務局	身を守る行動、情報伝達訓練
人事委員会事務局	身を守る行動、避難訓練(職員)、情報伝達訓練、職員の安否確認訓練、事務局災害等対策本部の設営訓練

市町村

自治体名	取組内容
大阪市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員・来庁者)
堺市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員・来庁者)、情報伝達訓練
岸和田市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員)・情報伝達訓練・情報収集訓練・市議会総務常任委員会避難訓練
豊中市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・帰宅困難者訓練・防災パネル展
池田市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(自治会など)・情報伝達訓練・情報収集訓練
吹田市	同報系防災行政無線(総合防災訓練会場のみ)・庁内放送・身を守る行動・帰宅困難者訓練・総合防災訓練・防災キャンペーン・啓発コーナー
泉大津市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動
高槻市	庁内放送・身を守る行動
貝塚市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動
守口市	緊急速報メール・庁内放送・避難訓練(職員)・消火訓練
枚方市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・ツイッターアラート・身を守る行動・体制確認訓練(職員)
茨木市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員・児童・生徒等)
八尾市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員)
泉佐野市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員)・情報収集訓練(安否確認訓練)・消火訓練
富田林市	同報系防災行政無線・庁内放送
寝屋川市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動
河内長野市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員・自治会など)
松原市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動
大東市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・庁舎内安全確保行動訓練(職員・来庁者)・避難訓練(小学校・中学校)
和泉市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員)
箕面市	庁内放送・身を守る行動
柏原市	緊急速報メール・身を守る行動・情報伝達訓練
羽曳野市	緊急速報メール
門真市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・情報伝達訓練・避難訓練
摂津市	緊急速報メール・身を守る行動・総合防災訓練
高石市	身を守る行動・庁内放送・避難訓練(職員・来庁者)
藤井寺市	緊急速報メール・身を守る行動・職員参集訓練・情報収集訓練(安否確認訓練)・災害対策本部訓練
東大阪市	緊急速報メール・同報系防災行政無線(戸別受信機のみ)・庁内放送・身を守る行動・聴覚障がい者等災害時ファックス情報発信・防災パネル展
泉南市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動
四條畷市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・情報伝達訓練
交野市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動
大阪狭山市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・啓発コーナー
阪南市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員・来庁者)・啓発コーナー
島本町	緊急速報メール・同報系防災行政無線
豊能町	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員・来庁者)・職員参集訓練・情報伝達訓練
能勢町	緊急速報メール・庁内放送・避難訓練(職員)・情報伝達訓練・災害対策本部訓練

忠岡町	緊急速報メール・避難訓練(自治会など)・避難所開設訓練
熊取町	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送
田尻町	庁内放送・身を守る行動
岬町	庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員・来庁者)
太子町	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動
河南町	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・職員避難訓練(職員・来庁者・保育園・幼稚園・小学校・中学校)
千早赤阪村	緊急速報メール・同報系防災行政無線・避難訓練(職員・幼稚園・小学校・中学校)

各種団体(※事務局把握分のみ)

団体名	場所	取組内容
株辰巳商會	堺ケミカルターミナル	設備の安全確保・点検等
日本酢ビ・ポパール(株)	堺市西区	地震・津波避難訓練
三井化学(株)	大阪工場	地震避難訓練
株日陸	大阪物流センター	地震避難訓練
大阪モノレール (大阪高速鉄道(株))	豊中市	緊急事態対策要綱に基づいた情報伝達訓練、全社員への安否確認メールの送付と返信の把握(家族を含めた安否確認の訓練)、指定した社員の自宅からの非常参集訓練(公共交通機関を使わずに、徒歩また自転車での出勤)、公共交通途絶時の社員の非常参集経路及び所要時間の確認
森田化学工業(株)	堺事業所	避難誘導、安否確認、避難場所・避難経路の周知
大阪市立大学	大阪市住吉区	全学緊急告知放送を行い、身を守る行動及び通信機器の動作確認、安否確認システムによる安否確認の実施
大阪国際石油精製(株)	大阪製油所	避難行動の実施
三井住友海上火災(株)	大阪市中央区	ポスター・リーフレット・横断幕の制作、災害時連絡システムの登録演習
株ハイドロエッジ	堺市西区	災害用伝言ダイヤル活用訓練
高石ケミカル(株)	高石市	身を守る行動、避難行動
イビデンケミカル	高石市	津波避難訓練、消火器での消化訓練
Team7043	府域全域	アマチュア無線による非常通信訓練、WEBによるロールコール
大阪技能専門学校	岸和田市	緊急地震速報への対応訓練、避難経路確認、避難行動
大阪ターミナルビル(株)	大阪市北区	緊急地震速報への対応訓練、身を守る行動、安否確認
大阪市街地開発(株)	大阪市北区	身を守る行動
大阪府社会福祉協議会 大阪府ボランティア・市民活動センター	大阪市中央区	身を守る行動、情報受発信訓練、災害時状況把握訓練
あいあい浜寺中央こども園	堺市西区	身を守る行動
グループホームクオレ堺鳳	堺市西区	身を守る行動
じきはらこどもクリニック	豊中市	身を守る行動
ビック・エスくずは	枚方市	館内放送
英風女子高等専門学校	大阪市福島区	身を守る行動
若松台保育所	堺市南区	身を守る行動、避難行動
生野敬愛保育所	大阪市生野区	避難行動
大阪電気通信大学	寝屋川市	身を守る行動、安否確認、指定避難所への避難
津田保育園	枚方市	避難訓練
佃幼稚園	大阪市西淀川区	避難訓練
都島東保育園	大阪市都島区	避難訓練
土居ひまわりこども園	守口市	避難訓練
南港幼稚園	大阪市住之江区	避難訓練
蓮見幼児学園 千里丘ナーサリー	吹田市	避難訓練
ふじ幼稚園	門真市	避難訓練
いずみっこ保育園	門真市	避難訓練

「大阪880万人訓練」に関するアンケート 分析結果概要

■実施期間 平成27年9月4日（金）13時から

■サンプル数 1,000名（国勢調査結果(平成22年)に基づく性・年代・居住地の割合で割り付けた15歳以上の大阪府民）

【主な調査結果】

1. 訓練の事前浸透率（訓練開始時より前にこの訓練を知っていた者の割合）→58.6%

浸透経路では「①テレビ」「②口コミ」「③職場からの周知」の順に割合が高かった。

2. 訓練開始合図の覚知率（11時）→54.5%

覚知経路では「①携帯電話の防災訓練アプリ」「②屋外スピーカー」「③館内放送」の順に割合が高かった。

3. 訓練開始合図の覚知率（11時03分：エリアメール／緊急速報メール）→68.1%

4. アンケート回答者の訓練参加率

(1)訓練当日までに、どのように避難するかや、非常持ち出し品等の日常の備えについて考えておく

事前訓練参加率→20.4%

①最寄りの避難所の確認や②「まずは身を守る」の確認③備蓄物資の確認等の割合が高かった。

(2)メール等で訓練情報を受け、自分の身の安全を守ることや、その後どう行動するかなど考える

当日訓練参加率→15.2%（11時の合図）、19.1%（11時03分の合図）

「地震・津波が起こった時のことを考えてみた」割合が最も高かったが、訓練情報受信後、何もしなかった人の割合が7割を超えるなど、本訓練の目的の一つである、実際の「逃げる」行動に、いかにつなげていくかが引き続きの課題となっている。

(3)本訓練と連携して市町村や自治会等の他主体が実施する避難訓練等に参加する

連動訓練参加率→9.7%

訓練の参加内容としては、①避難訓練②防災研修の順に割合が高かった。

5. 訓練参加合図の覚知者の訓練不参加理由

①エリアメール／緊急速報メールの着信確認ができればそれでいいと思った②忙しかったの順に割合が高かった。

「大阪880万人訓練」に関するアンケート 単純集計

実施期間:平成 27 年 9 月 4 日(金)13 時～

回答者総数 1,000 名

■平成 27 年 9 月 4 日(金曜日)午前 11 時、大阪府内で一斉に実施した「大阪 880 万人訓練」について、お尋ねいたします。※大阪 880 万人訓練の詳細については、こちらの大阪府のホームページをご覧ください。

http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/trainig_top/h27_880.html

Q1 あなたは、9月4日午前11時より前に、9月4日午前11時にこの訓練があることを知っていましたか。	回答者数	1,000	-
	知っていた	586	58.6%
	知らなかった	414	41.4%
Q2 前問で「知っていた」と回答した方にお伺いします。この訓練があることをどのような媒体・経路で知りましたか。(いくつでも)	回答者数	586	-
	広報誌(府政だより)	59	10.1%
	広報誌(市町村広報)	51	8.7%
	ミニコミ誌	2	0.3%
	ポスター	27	4.6%
	リーフレット	5	0.9%
	車内放送(公共交通機関)	50	8.5%
	ホームページ	57	9.7%
	SNS(ツイッター、フェイスブック、ライン等)	67	11.4%
	新聞	55	9.4%
	テレビ	128	21.8%
	ラジオ	45	7.7%
	口コミ(家族、友人・知人等)	79	13.5%
	自治会からの連絡・周知	19	3.2%
	職場からの連絡・周知	75	12.8%
学校・幼稚園等からの連絡・周知	19	3.2%	
その他	64	10.9%	
Q3 あなたは、9月4日午前11時にこの訓練があることを知って以降、訓練開始までに、地震や津波が発生したときにどのような行動をするか考えておきましたか。	回答者数	586	-
	はい	204	34.8%
	いいえ	382	65.2%
Q4 この訓練を知る前から、災害に備えていたことはありますか。先程、この訓練を「知らなかった」と回答された方は、9月4日午前11時より前から備えていたことをご回答ください。(いくつでも)	回答者数	1,000	-
	建物の耐震性の確認	123	12.3%
	地域の振動想定、地盤の状況	56	5.6%
	家具やロッカーなどの転倒防止措置の確認	149	14.9%
	津波浸水想定図やハザードマップの確認	123	12.3%
	備蓄物資の確認	208	20.8%
	「まずは身を守る」の確認	218	21.8%
	「あわてて帰宅しない」ための確認	46	4.6%
	帰宅ルートの確認	109	10.9%
	最寄り避難所の確認	259	25.9%
	家族会議の開催	60	6.0%
	災害用伝言ダイヤルの使用方法の確認	53	5.3%
	何もしなかった/していない	457	45.7%
その他	2	0.2%	

Q5 今年度の「大阪880万人訓練」は、午前11時に、館内放送、屋外スピーカー、電車等の車内放送、テレビ・ラジオ、自治会や職場・学校等の訓練開始アナウンスなどマイクやサイレン等で直接呼びかける方法で「地震発生」の訓練開始合図を行い、その約3分後の午前11時03分頃に、緊急速報メール等で携帯電話に「大津波警報」が発表されたとの訓練情報を大阪府全域に配信する2段階の訓練情報の発信を行いました。あなたは、上記訓練情報発信のうち、午前11時のマイクやサイレン等で直接呼びかける方法による訓練開始の合図を受け取ることができましたか。	回答者数	1,000	-
	受け取ることができた	545	54.5%
	大阪府内にいたが、受け取ることができなかった	376	37.6%
	大阪府外にいたため、受け取ることができなかった	79	7.9%
Q6 前問で「受け取ることができた」と回答した方にお伺いします。マイクやサイレン等で直接呼びかける方法で行った訓練開始の合図は次のどのような経路・媒体で受け取ることができましたか。(いくつでも)	回答者数	545	-
	館内放送(公共施設、職場・学校、ショッピングセンター、映画館等)	58	10.6%
	屋外スピーカー	125	22.9%
	車内放送(公共交通機関)	12	2.2%
	テレビ	17	3.1%
	ラジオ	14	2.6%
	訓練主催者からの呼びかけ	16	2.9%
	携帯電話会社の防災訓練用アプリ	371	68.1%
その他	7	1.3%	
Q7 先程、「受け取ることができた」と回答した方にお伺いします。訓練開始の合図を受け取った後、あなたは、「大阪880万人訓練」に参加しましたか。ここで「参加」とは、市町村や自治会、職場・学校等主催の避難訓練等に参加することや、個人的に「テーブルの下に身を隠すなど身の安全を図る」などの行動をすることだけでなく、ひとりで頭の中で「地震が起こった時のことを考えてみる」など、地震が起こった場合の状況や対応をイメージするだけでも「参加」としてください。	回答者数	545	-
	参加した	152	27.9%
参加していない	393	72.1%	
Q8 前問で「参加した」と回答した方にお伺いします。訓練開始の合図を受け取った後、あなたはどのような事をしましたか。なお、市町村や自治会等主催の訓練に参加中だった方は「市町村や自治会、職場・学校等主催の訓練に参加していた」を必ず選択し、それ以外にあてはまる選択肢がある場合は、その選択肢も選択してください。(いくつでも)	回答者数	152	-
	地震が起こった時のことを考えてみた	130	85.5%
	テーブルの下に身を隠すなど身の安全を図った	33	21.7%
	崖やブロック塀から離れた	7	4.6%
	建物から出た	13	8.6%
	市町村や自治会、職場・学校等主催の訓練に参加していた	14	9.2%
	その他	2	1.3%
Q9 あなたは、携帯電話やスマートフォンを持っていますか。	回答者数	1,000	-
	持っている	953	95.3%
	持っていない	47	4.7%

Q10 訓練当日、11時03分頃、緊急速報メール等で携帯電話に「大津波警報」が発表されたとの訓練情報を大阪府全域に配信しましたが、あなたは、この訓練情報を受け取ることができましたか。	回答者数	1,000	-
	できた	620	62.0%
	周りの人の携帯電話等が鳴ることで訓練開始に気付いたなど、何らかの媒体・経路で合図を知った。	61	6.1%
	できなかった	319	31.9%
Q11 今回の訓練では、大阪府全域向けの緊急速報メールに続き、大阪市など府内36の市町村で、各市町村域向けに緊急速報メールの発信を行いました※。実際に大規模災害が発生した際には、複数の自治体から重複して緊急速報メールが届くことがあり、今回はこのような状況を想定して、訓練を行いました。そこでお伺いしますが、訓練の際、複数の自治体から緊急速報メールを発信することについて、あなたの考えに最も近いものを次のうちからひとつ選択してください。 ※緊急速報メールを発信した市町村・発信時間などは、こちらのウェブサイト下方の「緊急速報メール発信予定団体一覧」をご参照ください。 http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobo_sai/trainig_top/h26celluler880.html	回答者数	681	-
	実際の状況を想定しての発信であれば必要である	435	63.9%
	実際の状況を想定しての発信であれば必要だと思うが、事前に十分な説明が必要である	172	25.3%
	実際の発災時と訓練は別であり、訓練で複数の緊急速報メールが届くことは迷惑なので、訓練では複数の自治体からの緊急速報メールの発信はやめるべきである／やめた方がよい	36	5.3%
	複数の緊急速報メールを発信しても発信しなくても、どちらでもよい	35	5.1%
	その他	3	0.4%
Q12 訓練開始の合図を受け取った後、あなたは、「大阪880万人訓練」に参加しましたか。ここで「参加」とは、市町村や自治会、職場・学校等主催の避難訓練等に参加することや、個人的に「高台や鉄筋コンクリート3階以上の高いところなどに避難を行う」などの行動をすることだけでなく、ひとりで頭の中で「津波が起こった時のことを考えてみる」など、津波が起こった場合の状況や対応をイメージするだけでも「参加」としてください。また、津波だけでなく、地震に対する行動を起こした場合や状況・対応をイメージした場合も「参加」に含めて回答してください。	回答者数	681	-
	参加した	191	28.0%
参加していない	490	72.0%	
Q13 前問で「参加した」と回答した方にお伺いします。訓練開始の合図を受け取った後、あなたはどのような事を行いましたか。なお、市町村や自治会等主催の訓練に参加中だった方は「市町村や自治会、職場・学校等主催の訓練に参加していた」を必ず選択し、それ以外にあてはまる選択肢がある場合は、その選択肢も選択してください。(いくつでも)	回答者数	191	-
	津波が起こった時のことを考えてみた	126	66.0%
	高台や鉄筋コンクリート3階以上の高いところなどへの避難を行った	22	11.5%
	地震が起こった時のことを考えてみた	98	51.3%
	地震に対する行動を起こした	26	13.6%
	市町村や自治会、職場・学校等主催の訓練に参加していた	11	5.8%
	その他	3	1.6%

Q14 前問で「参加していない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選択して下さい。(いくつでも)	回答者数	490	-
	緊急速報メール等の着信確認ができればそれでいいと思った／思っていた	248	50.6%
	「大阪 880 万人訓練」は市町村や自治会、職場・学校等主催の避難訓練等のことだと思っていた	34	6.9%
	災害への対応をイメージするだけでも「訓練」であるという認識がなかった	44	9.0%
	忙しかった／仕事中だった／取り込み中だった	228	46.5%
	面倒だった	30	6.1%
	訓練を忘れていた	20	4.1%
	無意味なものだと思った	11	2.2%
	その他	11	2.2%
	回答者数	1,000	-
Q16 この訓練をきっかけにして確認したことをお聞かせください。(いくつでも) ※この訓練があることを知らなかったため、この訓練をきっかけにしては何もしなかった(できなかった)方は、「何も確認しなかった／できなかった」をお選びください。	建物の耐震性の確認	86	8.6%
	地域の振動想定、地盤の状況	42	4.2%
	家具やロッカーなどの転倒防止措置の確認	85	8.5%
	津波浸水想定図やハザードマップの確認	64	6.4%
	備蓄物資の確認	127	12.7%
	「まずは身を守る」の確認	190	19.0%
	「あわてて帰宅しない」ための確認	49	4.9%
	帰宅ルートの確認	95	9.5%
	最寄り避難所の確認	159	15.9%
	家族会議の開催	47	4.7%
	災害用伝言ダイヤルの使用方法の確認	60	6.0%
	何も確認しなかった／できなかった	580	58.0%
	その他	9	0.9%
Q17 この訓練の当日あるいはその前後に市町村、自治会、職場・学校などが主催する避難訓練などに参加しましたか。	回答者数	1,000	-
	参加した	97	9.7%
	参加していない	903	90.3%
Q18 前問で「参加した」と回答した方にお伺いします。参加された方はその種類についてお答えください。	回答者数	97	-
	避難訓練	79	81.4%
	防災研修	29	29.9%
	情報伝達訓練	20	20.6%
	消火訓練	17	17.5%
その他	0	0%	
Q19 「大阪880万人訓練」について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。	回答者数	995	-

大阪 880 万人訓練実行委員会

委員長：大阪府知事

副委員長：大阪市長・堺市長

委員：大阪府教育長・大阪府市長会長・大阪府町村長会長・西日本旅客鉄道株式会社
取締役兼専務執行役員 近畿統括本部長・西日本電信電話株式会社 大阪支店 設備部
長・日本放送協会 大阪放送局長・KDDI 株式会社 関西総支社長・関西鉄道協
会 技術委員会委員長・関西テレビ放送株式会社 常務取締役・大阪放送株式会社 取
締役編成局長・株式会社NTTドコモ 常務執行役員 関西支社長・ソフトバンク株式会
社 総務本部 総務サービス統括部 地域総務部長

大阪府事務局：大阪府 危機管理室 災害対策課 災害対策グループ

大阪市事務局：大阪市 危機管理室

堺市事務局：堺市 危機管理室